



第29号

平成28年4月

## 「平成27年度多面的機能支払交付金 鳥取県内研修会」開催

平成28年3月27日（日）アロハホール（湯梨浜町）にて、「平成27年度多面的機能支払交付金研修会」が開催されました。県内の活動組織等から、410名の参加がありました。鳥取県農地・水・環境保全協議会木村会長挨拶の後、中国四国農政局農地整備課江角室長より「多面的機能支払交付金の動向」について、説明がありました。



木村会長の挨拶



会場の様子

また、日本型直接支払の中国四国農政局長表彰が行われ、優秀賞を受賞した西郷農地水まもり隊（多面的：鳥取市）、口細見集落協定（中山間：鳥取市）、方地地区資源景観保全活動組織（環境保全型農業：湯梨浜町）へ表彰状が授与されました。

続いて、西郷農地水まもり隊の窪田俊憲運営委員会長より事例発表がありました。



表彰式の様子



窪田運営委員会長

また、天明環境保全隊（熊本市）永井幸人事務局長より、「広域化が地域農業を強くする」と題して、熊本大学徳野貞雄名誉教授より、「世代、家族、集落をどう残すか～誰がふるさとを立て直すか～」と題して、ご講演頂きました。

年度末のお忙しい中、研修会に参加して頂きまして誠に有難うございました。平成28年度につきましても、研修会を開催予定です。開催内容につきまして、御要望がございましたら、市町村担当者又は協議会支援員まで、お知らせください。

## 平成28年度 多面的機能支払交付金の制度見直しについて

多面的機能支払交付金は、「農業・農村の構造変化に対応して、地域コミュニティによる共同利用施設の保全活動を維持・強化していくために、農地維持及び資源向上（共同）の取組を広げていく」ことを目的としており、以下の点を見直すこととなりましたので、お知らせします。

なお、詳細につきましては、市町村による説明会を開催する予定です。

- (1) 農村の構造変化に対応した保全管理のための推進活動 **（農地維持）**  
**本活動の達成状況や効果について、毎年活動組織が自己評価を行うとともに、市町村に報告を行い、市町村が活動組織の自己評価を評価し、必要に応じて指導、助言する新たな仕組みを整備する。**
- (2) 多面的機能の増進を図る活動 **（資源向上（共同））**  
 1) と同様に市町村が評価を行う仕組み等を整備するとともに、**本交付金導入以前に比べ、新たな活動の実施や従来の活動の充実等を行うよう要件化する。**
- (3) 資源向上（長寿命化）の新規組織の優遇措置 **（継続組織は従来通り）**  
 広域協定の規模が100ha以上（中山間地にあつては100ha以上）の広域活動組織に対しては、1集落あたり認定額上限なし（**広域活動組織以外は1集落あたり200万未満**）又、単価上限額の減額措置なし（**広域活動組織以外かつ直営施工未実施組織は、単価上限額を5/6に減額**）

**注）活動組織が認定活動期間終了後に、再度活動を継続するため、市町村に認定を申請する場合は、新規組織扱いとなります。**

## 多面的機能支払交付金で4月前半に実施して頂きたい活動について

多面的機能支払交付金に取り組む組織（**継続・新規共**）は、**4月1日からの活動が交付金の交付対象**となります。

つきましては、農地維持の点検活動、資源向上（共同）の機能診断活動及び年度活動計画の作成等、速やかに取り組んで頂きますようお願いいたします。また、前述の活動や各施設の草刈り、適正管理等実施された場合において、必要があれば写真を撮って管理して頂きますようお願いいたします。

また、実施状況報告書の提出については、前段として、総会において承認されることが必要となります。つきましては、既に総会を開催されている組織は別として、規約に定められているとおり、**総会において構成員の合意形成を図っていただきますようお願いいたします。**

**どんな些細なことでも結構です。お気軽に、支援員にお尋ねください。**

	支援員	問 合 先	電話番号
東 部	小林 孝規	水土里ネットとっとり(協議会事務局)	0857-38-9500
中 部	前田 秀穂	水土里ネットとっとり倉吉事務所	0858-47-0055
西 部	種田 順治	水土里ネットとっとり米子事務所	0859-32-9710